

## 氏神様と私

日光鹿島神社 氏子  
小野寺育代



四歳の長女、一歳の長男を持つ二児の母親です。お七夜には名付けをし、子供の誕生を奉告するため、神棚に名前を記した紙を貼りました。そして初めて神社にご挨拶をするお宮参りは、主人の実家近くの八雲神社に両親四人と共に参拝しました。健やかな成長と幸せをお祈りしました。お陰で二人とも元気一杯にすくすくと育っています。

家を父の屋敷内に新築し、長女は今年の四月より幼稚園に通っています。送迎バスの乗降は氏神様日光鹿島神社の前です。天気の良い日は降車後、親子三人で氏神様をお参りし遊んできます。氏神様に守られ心を癒し帰路に着く平穏な日々を送っております。

## たくさんの人に支えられて



高連川神社  
宮司  
佐藤 明子

私は二人の娘の母親で、神職であり医師でもあります。二つの仕事を続けていくだけでも苦勞していたところに子育てが加わり、心身ともに余裕のない毎日が続きました。そんな中で私が仕事を続けてこられたのは、周囲の人々の協力、支援のおかげだと強く感じるとともにとても感謝しています。子供達を預っ

てくれる父母、私の仕事を理解してくれる夫、神社の総代の皆さん、近隣の神職の皆さん、長年にわたり神社を支えてきた叔母、娘の保育園の先生方、そしていつでも私の味方の長女と天真爛漫の笑顔で元気をくれる次女本当にたくさんの人々に支えられています。これからも子育てをしながら自分も成長していきたいと思っています。

## 神棚は神様我家出張所

日光荒山神社 氏子  
齋藤 典子

多分神様なのだから、どんな時でも何処にいても、見えていたり、わかっていたりする存在なのだろう。けれど、神社や神棚にお参りする時、私は濃密に神様とのつながりを感じるし、安心し心が落ちつく気がする。というか、毎日お参りしないと何か忘れ物をしたような気がし

てしまう。

二荒幼稚園生の時は参拜の間があり、すぐ近くに神社があり、信心深かった祖母の姿を毎日見て育った幼少時代。

結婚してアパート暮らしをした時も小さな神棚を作ってもらった。そうすると家にいつでも神様は出張して来ていつでも家族を見守っていてくれるような気がする。

最近では小さな娘二人も、毎日小さな手を神棚に合わせている。



## 習慣は第二の天性



黒羽八雲神社  
氏子

森高 總子

私の住む黒羽町大字田町は、黒羽八雲神社が、町の中心にあります。嫁いで三十数年親が続けてきた。神社からいただく大麻を神棚に無意識に飾るだけでした。

年を重ねて現在は田町婦人防火クラブの役員を依頼されたその中で、神宮大麻の頒布を各家庭に一件一件、訪問し頒布しておりますが、その中で感謝している方、又迷惑している方それぞれですが、今の若年層は神棚に対する意識が全くといって良い程、宗教離れ、関心がありませんが、【習慣は第二の天性】と云われております。

繰り返し、繰り返しどんな事でも神仏にお守りされている事の不思議さを、私達が実践していく上で、子孫に伝えながら、安心して生活できる地域社会、各家庭に八雲神社を通じて神宮大麻の頒布をさせていただき、神仏の恵に感謝申し上げます。

## 神社とわたし



氏家今宮神社  
氏子

小林 昌子

私の住む町には、森に囲まれた氏神さま「今宮神社」があります。

鳥居をくぐって三十メートルほど進むと楼門があり、さらに進むと諏訪大社の「おん柱」と見まごうような立派なケヤキの木が拝殿の両脇に立ち、その奥に御本殿があつて神様が鎮座されています。境内には樹齢七百年を越す御神木の「大公孫樹（おおいちよう）」がそびえ立ち、新緑と黄葉は見事なもので、十一月半ばには「大公孫樹祭」でこの木がライトアップされ、私たちの心を和ませてくれます。

七月三十一日には夏越の大祓「茅の輪くぐり千灯万灯祭」が行われ、青々とした茅で造られた直径三メートルもある大きな茅の輪をくぐってお祓いします。

くぐるときにはそれぞれお願い事を書いた提灯を手持って神社の周りも廻るので、提灯の光で照らし出される風景はとても神秘的で、大勢の参拝者で賑わっています。そして毎年十月十九日には例大祭が行われ、渡御の行列が町中を練り歩きます。境内の末社には「一言のお願い事が叶う」という神社もあるので、氏家においでの際にはぜひお参りされると良いと思います。

私は時折今宮神社にお参りをしてきましたが、十数年前から毎月「おついたち」にお参りするようになりました。朝の神社の空気はピンと張り詰めていて、気持ち引き締まる思いがします。神社の前で手を合わせると、不思議と自然に頭が下がってきます。家でも毎朝神棚の前で手を合わせ「家族のみんなが健康で、今日一日元気で仲良く過ごせますように」とお願いをします。また今宮神社の神様サノ

オノミコ様は、力と知恵とやさしさを与えて下さる神様だと宮司様にお聞きしました。私も古稀を過ぎておりますので、力とやさしさを少しでも与えて下さいと、毎日お願いをしています。

そんな私の姿を見ている孫が、神棚の下の茶置竈に提げておく大きな鈴を二、三回振っては手を合わせている姿を目にします。家の鈴を鳴らすと、今宮神社につながって、神様にお願いが通じるものと思っているようです。その孫達にはいつまでも、神様に手を合わせてくれたら良いなと願っております。

私も「おついたち」のお参りをはじめ、年間を通して神社へお参りに行きますが、私の気持ちを穏やかにしてくれる神社参りは、私の心の健康法なのです。これからも今宮神社の氏子として、神社のお恵みを頂いて参りたいと思います。